

近代日本の仏教と福祉

公共性と社会倫理の視点から

いかわ ゆうがく

井川裕覚著

▼A5判・上製カバー・380頁・定価 五、五〇〇円

2023年1月刊行



公共宗教の視点から仏教社会福祉史を再考し、福祉をめぐる公共空間の形成過程と、その原動力としての仏教倫理の存在を浮き彫りにする。

【目次】

序 章 近代日本の福祉をめぐる公共空間と仏教

〈第Ⅰ部 子どもをめぐる社会福祉活動と宗教〉

第一章 瓜生イワの慈善事業と「福祉思想」
―「人間の尊重」と仏教倫理―

第二章 明治期における仏教倫理の展開と仏教社会福祉活動
―福田会育児院の養護実践と女性の関与―

第三章 明治期のキリスト教的な社会福祉活動の公共的機能
―石井十次の岡山孤児院、留岡幸助の監獄改良と家庭学校―

〈第Ⅱ部 セツルメントの発展と浄土宗社会派による
仏教社会福祉活動〉

第四章 渡辺海旭による仏教社会事業の公共的機能
―ドイツ型セツルメントと共済思想―

第五章 長谷川良信のセツルメントにおける教育的側面
と社会倫理―大正期における「感恩愛人」の思想と実践―

結 章 近代日本における仏教と福祉

参考文献一覧／初出一覧／画像出典一覧／あとがき

索引

◆著者略歴

井川裕覚(いかわゆうがく)

一九八五年奈良県生まれ。大阪市立大学経済学部卒業、二〇二一年上智大学大学院実践宗教学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。専門は宗教学・仏教社会福祉史・死生学・臨床スピリチュアルケア。現在、上智大学大学院実践宗教学研究科特別研究員。
主な論文に、「スピリチュアルケアにおける宗教性の役割―臨床宗教師による「宗教的資源の活用」の検討―」(『スピリチュアルケア研究』第4号、二〇二〇年)、「仏教社会事業史からみた「福祉をめぐる公共空間」と社会倫理」(社会事業史学会創立50周年記念論文集刊行委員会編『社会事業史学会創立50周年記念論文集 戦後社会福祉の歴史研究と方法―継承・展開・創造―』第1巻〈思想・海外〉、近現代資料刊行会、二〇二二年)など。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
井川裕覚著	
法藏館	
定価 五、五〇〇円	
近代日本の仏教と福祉	
公共性と社会倫理の視点から	
ISBN:978-4-8318-5578-7 C3021	
お名前	お電話
お住所	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏教・近代史